

第 11 回 緊急対応訓練 実施報告書

主催	伊東市ダイバーズ協議会
訓練実施年月日	平成17年 3月14日 (月)
訓練実施地	伊東市 富戸港 脇の浜
訓練実施時間	12:15 ~ 16:55
報告書作成者	GO TO THE SEA 横田 雅臣

第11回緊急対処訓練実施報告書

- | | |
|----------|---|
| 1 実施期日 | 平成 17年 3月 14日 月曜日 |
| 2 訓練開催地 | 伊東市 富戸港地先 |
| 3 訓練実施時間 | 12:15 ~ 16:55 |
| 3 - 1 | 12:15 集合、参加名簿記入、IDC 事務局挨拶、来賓挨拶
訓練開催者手順説明、参加チームブリーフィング |
| 3 - 2 | 13:55 訓練参加者準備、チームミーティング
訓練準備 |
| 3 - 3 | 14:00 訓練開始

訓練 1 行方不明者搜索訓練

訓練 2 通報訓練

訓練 3 事故者引き上げデモンストレーション |
| 3 - 4 | 15:18 訓練終了 |
| 3 - 5 | 15:47 訓練参加チーム毎のブリーフィング |
| 3 - 6 | 16:15 チームリーダーからの報告 |
| 3 - 7 | 16:55 訓練終了・解散 |

4 緊急対処訓練詳細

4 - 1 事故発生対処、行方不明者の捜索と回収 情報の収集

ビーチエントリーでのダイビング中、水中での離散により行方不明者が発生したとの想定で、訓練を行った。訓練は、水中捜索2チームを編成し、事故発生から時系列での対処手順案を実施した。

4 - 1 - 1 訓練参加員数および訓練協力

訓練参加者	27事業所	41名
視察	伊東警察署	2名
	伊東警察署 富戸派出所	1名
	伊東市消防本部	3名
	下田海上保安部伊東マリンパトロールステーション	2名
見学		28名
		全 77名
通報訓練協力	伊東市消防本部	
	伊東警察署	
	下田海上保安部警備救難課	全 3件

4 - 1 - 2 事故発生時対処訓練参加者

チームA 水面：小林、松崎、佐野(博)
水中：佐野(健)、一政、山崎、中島

チームB 水面：高瀬、木部、坂本
水中：佐藤、五味、内山、横山

引き上げ 伊藤、川野、黒葛原、村井

通報訓練 石井、山下、西山、助川、茂木、佐藤、石川

監視員 猪狩、松本、小川、宮本

事故者 鈴木、篠原

4 - 1 - 3 訓練内容

ビーチダイビング中、行方不明者が発生したとの通報を受け、捜索ダイバーを依頼し水中の捜索を行った。訓練シナリオに準じた、行方不明者の回収をシミュレーションした。

4 - 2 事故発生時の通報訓練

伊東市消防本部、伊東警察署、下田海上保安部への適時通報を行った。

4 - 3 事故者引き上げ訓練

2チームにより、同様の訓練を2回実施した。

4 - 4 酸素投与デモンストレーション

酸素投与をおこなった。

5 訓練実施体制

下記の要員を設定し、訓練の指揮、安全管理、訓練中の事故発生に対する緊急対応要員を配置し、訓練をサポートした。

訓練開催責任者	1名	村田 清臣	リーフレイダーズ
訓練開催責任者補佐	1名	桑原 龍哉	マリンステージ
訓練実施チーム統括者	1名	横田 雅臣	GO TO THE SEA
訓練実施チーム統括者補佐	1名	米澤 清博	八幡野ダイビングサービス
記録	1名	山田 政浩	ARIGATO
訓練開始通報者	1名	米澤 清博	八幡野ダイビングサービス
連絡員	1名	林 宗行	むねエンタープライズ
水中対応	2名	苅部 徹	Keep Smiling
		兵藤 孝夫	ヘイズダイブ
水面对応	1名	志村 晃央	城ヶ崎 インディーズ

6 訓練への協力をいただいた関係各所

6 - 1 伊東市消防本部

- ・ 通報訓練へのご協力

- ・ 訓練当日、訓練開催地への救急車両1台、ポンプ車1台の配備
- ・ 救急隊員の視察、派遣

6 - 2 伊東警察署

- ・ 通報訓練へのご協力
- ・ 伊東警察および、署富戸派出所からの派遣・視察
- ・

6 - 3 下田海上保安部 警備救難課

- ・ 通報訓練へのご協力

6 - 4 下田海上保安部 伊東マリンパトロールステーション

- ・ 隊員の視察・派遣

6 - 5 伊東市漁協富戸支所、富戸ダイビングサービス

- ・ 訓練参加者の施設利用へのご協力
- ・ 訓練時使用タンクのご提供

6 - 6 富戸地区

- ・ 訓練案作成 横田 雅臣 GO TO THE SEA

6 - 7 伊東市ダイバーズ協議会会員および訓練参加者

- ・ 訓練参加 全 41 名

7 謝辞

7 - 1 伊東市消防本部殿

公務中にもかかわらず、訓練実施にあわせ署員による訓練視察および救急車両の配備、通報訓練へのご協力を頂き、心より御礼申し上げます。

7 - 2 伊東警察署殿

公務中にもかかわらず、訓練実施にあわせ署員による訓練視察ならびに通報訓練へのご協力を頂き、心より御礼申し上げます。

7 - 3 下田海上保安部 警備救難課殿

公務中にもかかわらず、通報訓練へのご協力を頂き、心より御礼申し上げます。

7 - 4 下田海上保安部 伊東マリンパトロールステーション殿

公務中にもかかわらず、訓練の視察を頂き、心より御礼申し上げます。

7 - 5 伊東市漁業協同組合 富戸支所殿

営業日にもかかわらず、地先利用のご協力を頂き、心より御礼申し上げます。

7 - 6 富戸ダイビングサービス殿

営業日にもかかわらず、施設利用へのご協力および、訓練時使用タンクのご提供を頂き、心より御礼申し上げます。

7 - 7 訓練参加者各位

ご多用にもかかわらず、訓練への多数のご参加を頂き、心より御礼申し上げます。

8 訓練総評

第11回緊急対処訓練が、参加者の事故、怪我などの問題がなく、終了できたことに対し、ご参加いただきました皆様のご協力の賜物と、感謝いたします。

下記に、参加いただいた方々、ご視察をいただいた方からの総評を記しますので、ご確認ください。

水中搜索班

- ・ 透明度に応じて対応策を考えておく。
- ・ ロープをまっすぐ張るために間隔を短めにした。
- ・ 浮上の仕方(安全管理を含めて)も打合せしておく。
- ・ 事前の打合せ(進行方向、発見時の対応、陸からと水中双方のリコールサイン)の重要性。
- ・ 水中搜索班を水面からサポートする要員の必要性。

水面搜索班

- ・ 水中チームと一緒に打合せをするべきである。
- ・ 陸上からの指示が不足。
- ・ 第一発見者が陸上で付き添うべきだった。
- ・ 水面のコンディションが悪い時もあるので、陸上とのコンタクト手段も重要。
- ・ 水面下に発見した時に、どうやって引き上げるのか？(スクーパーチームが必要)

引上げチーム

- ・ 担架の使用は効果的。
- ・ 酸素投与をする場所の選択。
- ・ 大人数が来ると、上げ辛くなるので、員数制限も必要。
- ・ 時間が空けば、常に先を読んで行動する。

通報訓練参加者

- ・ 名前を聞き忘れた。
- ・ 情報にタイムラグがでくるので、少しためたほうが効果的か？
- ・ あわてないために、このようなシミュレーションが必要。
- ・ 情報を大きめのホワイトボードに記入した方が、みんなが見やすい。

監視員

- ・ 現場のコントロールが一番大事。
- ・ 大きなハッキリした声で。
- ・ 担架などの備品を有効に使う。
- ・ 捜索班全員のエキジットを確認するべきである。
- ・ 水面捜索班のために、メガホンなどを使って誘導するべきである。
- ・ チェックシートの項目の見直しが必要か？
- ・ チェックシートの項目はほぼ全てカバーできた。

その他

- ・ お客様情報を海ですぐに分るような対応策が必要。
- ・ チェックシートも必ず持参する事。

下田海上保安部 伊東 MSP

- ・ 員数に余裕があれば、富戸の地理を生かし、高台からの捜索を行うと広範囲の見渡しが可能。
- ・ 捜索時、ロープなど絡まる恐れのある物を使用するには、1名はナイフを携行した方がいい。
- ・ 地上で捜索をしている人が、みな同じ方向を見ている。
- ・ 酸素の準備はなるべく早く準備しておいたほうが良い。
---- 要救助者が曳航されているという事は、体に異常がある可能性がある。
- ・ 要救助者が陸に引き上げられたとき、水中捜索班の監視をしている者がいない。(1回目)
- ・ もし、1回目の捜索で見つからなかったときのことを考えておく。

伊東警察署

- ・ 基本的に忠実に守り事故を予防する事。(訓練開始にあたりのご挨拶にて)
- ・ 事故後、関係者と連絡が取れるように、連絡先を把握しておいてほしい。

との総評等をいただきました。

次回の訓練には、これらの事項を反映させ、より良い訓練が実施できるよう努力することをここに明記します。

最後に、参加された各事業所皆様の、ご健康とご繁栄を祈念いたします。

9 添付資料

9 - 1 訓練参加者名簿

9 - 2 訓練時の写真